

報道関係者各位
ニュースリリース

2025年3月31日
株式会社理経

理経、Apple Vision Pro 用可変レンズアダプタ
「Adjustable VR Prescription Lenses」の販売を開始

株式会社理経（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 猪坂 哲、以下 理経）は、VOY（本社：米国カリフォルニア、CEO & Founder：George Zhao）の空間コンピュータ（※1）Apple Vision Pro 用度数可変レンズアダプタ「Adjustable VR Prescription」の販売を開始します。

専用レンズが不可欠だった Apple Vision Pro に装着でき、調整つまみをスライドするだけで簡単に度数が変更（近視・遠視対応）できます。

※1 空間コンピュータ：空間コンピューティング（現実空間とデジタル空間を融合させる、AR や VR などの技術の総称）を実現する機器。2023年6月に開催された Apple の開発者会議「WWDC 2023」にて Apple Vision Pro が発表された際、本ヘッドマウントディスプレイを「空間コンピュータ」と称した。

■ 「Adjustable VR Prescription Lenses」概要

眼鏡不要で Apple Vision Pro を使用するための度数可変レンズアダプタです。Apple Vision Pro は、眼鏡をかけたままの装着ができないため、自分の度数に合わせた専用レンズが必要になります。そのため、複数人で使用する場合には「レンズを取り換える」「ユーザーごとにレンズを用意・管理する」などの煩雑な作業が発生していました。本レンズは、スライド調整のみで簡単に視力調整ができるため、友人、家族、学校、企業など複数のユーザー間で Apple Vision Pro を容易に共有することが可能になります。



「Adjustable VR Prescription Lenses」



「Adjustable VR Prescription Lenses」と
Apple Vision Pro

■特長

- ・取り付け、取り外しが簡単
- ・近視、遠視用に**2種類**のレンズで幅広く対応
- ・視力調整はスライド調整のみ
- ・度の異なる複数のレンズを準備する必要がなく、管理者の手間とコスト削減に有効

■仕様

- ・近視用レンズ：0D から-6D まで調整可能（-6D は視力が 0.01 相当の方に対応）
- ・近視/遠視用レンズ：+3D から-3D まで調整可能（プラス値での調整で遠視の方に対応）

■販売価格

オープン価格

■今後の展開

ヘッドマウントディスプレイは、いまやエンターテインメントに限らず、疑似体験やシミュレーションなどさまざまな分野・業界での普及が進んでいます。今後は企業や学校、デモ体験等での活用も多くなり、一つのヘッドマウントディスプレイを複数人でシェアする機会も増えるため、容易に度数が可変できる補正レンズの需要も高まっています。

理経では、自社プロジェクトへの導入ならびに、一般向け販売へ拡大していきます。VOYにおいても、Apple Vision Pro 以外に Meta Quest2 や Meta Quest 3、Meta Quest3S へ対応した可変レンズも販売しております。

【VOY について】

VOY は、業界をリードするチューナブルレンズ技術開発の最前線にいます。2018 年以来、VOY はその強力なディープテック（※2）光学エンジニアリング能力を活用し、この分野の進歩を開拓してきました。最先端のナノファブリケーション（※3） ツーリング（※4）と製造を組み合わせることで、VOY はチューナブルレンズ技術のグローバルリーダーとしての地位を確立し、XR 空間コンピューティングとアイウェアのソリューションプロバイダーとなっています。

VOY の革新性と卓越性への献身は、2021 年と 2023 年の両年、名誉ある CES（※5）イノベーション賞を受賞しています。

所在地 : 3031 Tisch Way 110PW, San Jose, CA 95128

CEO & Founder : George Zhao

設立 : 2018 年

事業内容 : チューナブルレンズおよびその関連製品(チューナブル VR レンズ、

チューナブルアイウェアなど)の設計・開発・製造

URL : <https://voyglasses.com/>

X(旧 Twitter) : <https://x.com/voyglasses>

※2 ディープテック：科学的な発見や革新的な技術に基づいて、社会に大きな影響を与える問題を解決する取り組みで、具体的には、人工知能、ロボット、3D プリンター、自動運転、宇宙飛行、クリーン電力、ゲノム編集、量子コンピューティング、ナノテクノロジーなどの分野がディープテックの領域とされている。ディープテックは、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも期待されている。

※3 ナノファブリケーション：半導体加工技術を応用して、ナノセンサーやその他のナノ構造など微細パターンを形成するプロセスや技術のこと。半導体やセンサ、微小光学部品などのデバイス作製に使われる。

※4 ツーリング：金属素材を加工する工作機械と、ドリルなどの切削工具とをつなぐ役割をする工具。

※5 CES：毎年1月に米国ラスベガスで開催される、最新テクノロジーが一堂に会する世界最大の展示会。

【株式会社理経について】

株式会社理経は、IT 及びエレクトロニクス業界のソリューションベンダーとして 1957 年に設立以来、システムからネットワーク、VR/AR コンテンツ、電子材料・電子機器までさまざまなソリューションを提供しています。国内外の最先端技術や先進的な製品を活用したソリューションを提案し、お客様の業務の効率化、収益の改善などビジネスの発展に寄与します。

所在地 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目 2 番 11 号 新宿三井ビルディング二号館

資本金 : 34 億 2,691 万円 (2025 年 3 月末日現在)

代表者 : 代表取締役社長 猪坂 哲

設立 : 1957 年 6 月 8 日

事業内容 : ・システムソリューション
・ネットワークソリューション
・電子部品及び機器

URL : <http://www.rikei.co.jp>

X(旧 Twitter) : https://x.com/rikei_pr

※記載されている製品名、社名は、各社の商標または登録商標である場合があります。

※本製品は、視力矯正を目的としたものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】

AI システムセールスグループ

TEL：03-3334-2178（ダイヤルイン）

E-mail：voy@rikei.co.jp

製品ページ URL：<https://www.rikei.co.jp/product/720/>

以上